

自立と創造の 学校づくり推進事業

この事業は「学校2学期制」の導入をきっかけに、児童・生徒の実態、保護者の願いや期待、地域の特性などを踏まえて、特色ある学校づくりの推進をねらいとしています。

各学校では、実態をしつかりと把握したうえで、児童・生徒をよりよく育てるための教育活動が工夫され、学校が活性化してきたなどの成果も報告されています。

その活動の具体的な内容を紹介します。



◀写真を通して、自然の素晴らしさを学ぶ福部小学校の児童たち

事例 1

教育活動の紹介

生き生きとした賀露健児の育成

卒業までに100メートル皆泳、450冊読破をめざして

賀露小学校

健康な体づくり

少しずつ高い目標を設定し、達成感を味わいながら取り組みができるよう工夫しています。



4泳法チャレンジ大会

内容 …平成17年度は「卒業までに100m皆泳450冊読破」という目標で取り組みました。6年生の多くが、100m泳ぐという目標を達成したため、平成18年度の目標は「4泳法（クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ）を25mずつ100m泳ぐ」に設定を変えて取り組み、全校で55人の児童が目標を達成しました。

事例 2

教育活動の紹介

中郷っ子の明日への挑戦

人・地球とのかかわりの中で仲間と共に生き生きと学ぶ子

中郷小学校

豊かな心を養う

地域の人々と一緒に活動するなかで地域を愛し、地域を語ることができる児童の育成をめざしています。



びわの葉茶づくり

内容 …3月には、学校統合により創立132年の歴史を閉じます。自然豊かな環境を生かし、米づくりやびわの栽培など、児童と保護者が一体となり地域を巻き込んだ取り組みをしています。今年度の活動は、閉校の年でありいつもの年とは違った意味を持つものとなっています。

事例 3

教育活動の紹介

漢字検定にチャレンジ

チャレンジ検定制度で全校児童の漢字力をアップ

大正小学校

学力向上

子どもたちの漢字力の向上に取り組んでいます。



漢字に親しむ会

内容 …平成17年度から「漢字チャレンジ」に取り組み、「チャレンジ検定制度」が完成し、児童の漢字力の大幅な改善につながりました。認定書をもらおうと、意欲を持って取り組む児童が増え、今年度は、月1回のチャレンジデーを実施したり、進級表を廊下に掲示したりすることで、学校全体に意欲的に取り組む雰囲気が出ています。1月末には全校児童が文部科学省認定公式漢字検定にチャレンジしました。

事例 4

教育活動の紹介

豊かな心を育み心身共にすこやかな生徒の育成

第2の誕生を支える性の自立をめざして

中ノ郷中学校

豊かな心を養う

自分自身の存在の大切さや他者との関わりを見つめ直す教育を展開しています。



『世界エイズキャンペーン活動』

内容 …文部科学省「エイズ・性教育推進地域指定」をきっかけに、「第2の誕生を支える性の自立をめざして」というテーマでさまざまな活動に取り組んでいます。平成17年度は、「レッドリボンサークル」としてエイズ感染者に対する偏見や差別をなくすための生徒会自主活動が、「ボランティア・スピリット賞」を受賞しました。